重要な知見

41%

保険組織をターゲットとしたヘルスケアエコシステムにおける API 攻撃の割合

API 攻撃は、ヘルスケアエコシステムで確実に増加しています。特に保険組織や保険会社をターゲットとした攻撃が増えています。これは、保護医療情報（PHI）、保険金請求データ、財務情報など、こうした組織が保有している豊富な情報が原因と考えられます。

API の無秩序な拡大がデータの不正アクセスなどの大きなリスクを招いている

API の無秩序な拡大、または組織内での API の無秩序な普及により、可視性が失われ、セキュリティ制御の及ばない外部で増殖し、大きなセキュリティギャップが生じています。その結果、組織のアタックサーフェスが拡大し、機微な情報への不正アクセスなどのリスクを招くことになります。

88%

EMEA の製薬組織に対するレイヤー 7 DDoS 攻撃の割合

レイヤー 7 DDoS 攻撃の件数は、EMEA 地域の製薬会社が最も多く、北米とアジア太平洋・日本（APJ）地域がそれに続いています。2024 年上半期のデータを詳しく検証すると、EMEA および北米に対する攻撃数は、2023 年の各地域の合計数を超える勢いです。

21 MILLION

ヘルスケア機関に対する Web アプリケーションおよび API 攻撃の月間平均件数

データの相互運用性とその他のコンプライアンス要件を受けて、Web アプリケーションおよび API の利用が増加した結果、ヘルスケア機関と患者の両方にセキュリティリスクが生じています。

415 MILLION

ヘルスケア機関に対するレイヤー 7 DDoS 攻撃の月間平均件数

ヘルスケア業界では DDoS 攻撃が増加しており、ハクティビズムと現在の地政学的状況がこの動きに拍車をかけています。こうした攻撃は、サービスの中断や混乱を生じさせ、患者の転帰の脅威となります。2023 年、Killnet は大規模な DDoS キャンペーンを立ち上げて、主にヘルスケア機関に打撃を与えました。